

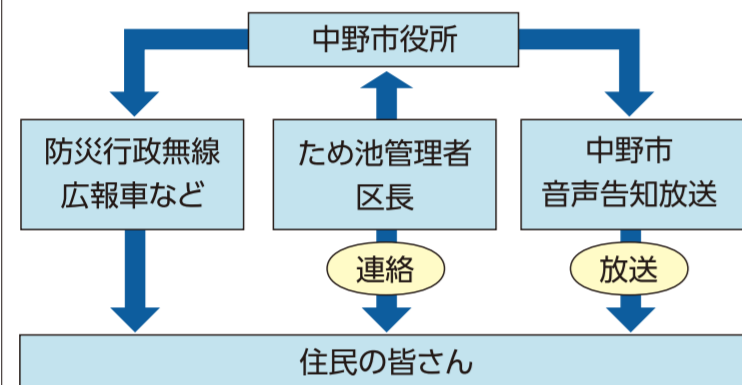
避難場所凡例

-  ※一時避難所
-  ※指定緊急避難場所

ハザードマップ注意点

- ・当ハザードマップの浸水解析区域は、ため池決壊時の最大影響範囲を想定しており発生時の条件により影響範囲は変わります。
- ・自分の家が浸水区域内の場合は、避難場所を確認しておきましょう。安全な親戚や知人宅等も選択肢の一つです。
- ・浸水区域外の場合は、避難の必要はありませんが、河川の洪水や土砂災害の危険性がある場合は、その状況によっては避難する必要があることに留意しておきましょう。(詳細は、中野市くらしと防災ガイドブック防災ガイド編(96頁以降)をご覧ください。)

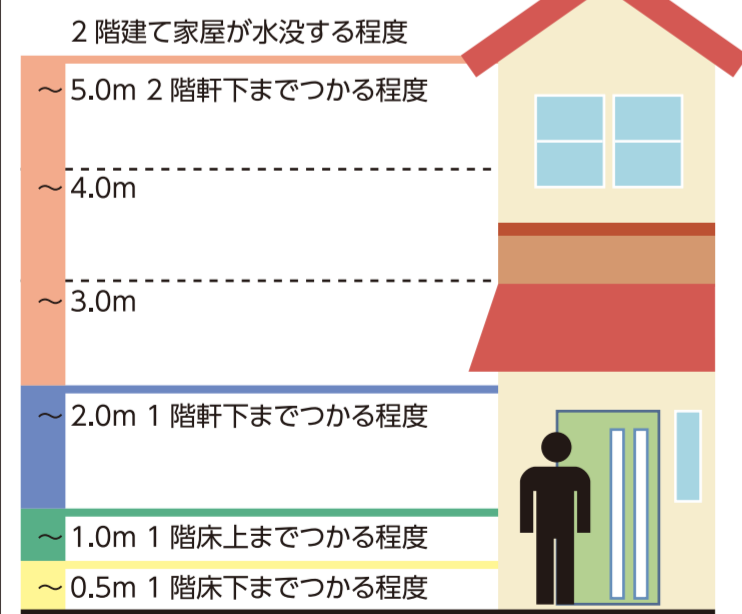
情報伝達経路



避難先をみんなで決めておこう!

- 自宅の予想される浸水深さは?
- 0.5m未満 1.0m未満 2.0m未満 2.0m以上
- ※避難場所を決めよう!
- ・一時避難場所(例: 自宅の2階など)
 - ・避難場所(例: 公民館、小学校)

浸水深さ凡例



- ・このハザードマップは「SIPOND(ため池氾濫解析ソフト)」の解析結果をもとに作成したものに なります。
- ・SIPONDは「国立研究開発法人 農業・食品産業技術研究機構」監修のもと「株式会社ニタコンサルタント」が開発したソフトです。
- ・背景地図については、中野市より平成29年3月に発行された地形図及び国土地理院基礎地図情報に基づいています。
- ・氾濫解析については、国土地理院より平成29年に発行された地形図に基づいて作成を行っています。

